

患者の皆様へ

2020年6月1日

千葉大学医学部附属病院小児科

現在、当院小児科では、「小児領域における脳MRI画像に関する観察研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2000年1月1日から2023年5月31日までのMRI画像データ、診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「小児領域における脳MRI画像に関する観察研究」

2. 研究の意義・目的

脳MRI検査は、非侵襲的に脳形態や脳障害について評価できるため、広く日常診療で行われています。様々な撮影法（シークエンス）で画像を取り、信号パターンや脳萎縮を評価することで、脳で生じている病態を評価することができます。さらに近年、画像から客観的な値を測定する方法が確立されてきています。その一方で、脳MRIはこどもの時期に大きく変化しますが、その正常値や疾患によってどのような値になるかは不明です。本研究の目的は、小児期の脳MRIの定量解析を行い、質の高い年齢別の基準値を確立し、疾患毎の傾向を明らかにすることです。本研究は脳疾患の早期診断に寄与する臨床的な意義があると考えます。

3. 研究の方法

患者さんの脳MRI画像、診療情報（年齢、性別、診断名、診療経過）を利用させていただきます。得られたデータは匿名化された上で解析されます。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は千葉大学医学部附属病院小児科の鍵のかかる棚で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

研究内容はすべて匿名化された上で解析が行われ、関連の学会および学術誌に報告されま

す。アンケート用紙、電子媒体は研究代表者の研究室に厳重に保管されます。

6. 研究組織

本研究の研究代表者は塩浜 直（千葉大学医学部附属病院 小児科）であり、研究協力者は高谷具純（千葉大学医学部附属病院 小児科）、服部真也（千葉大学医学部附属病院 放射線科）、藤井克則（千葉大学大学院医学研究院 小児病態学）、横田 元（千葉大学大学院医学研究院 画像診断・放射線腫瘍学）、松本 浩史（千葉大学医学部附属病院 放射線部）です。

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力いただけない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学大学院医学研究院

本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院 小児科

助教 塩浜 直

043 (226) 2144 内線5364